

第 5 5 回協議会資料

資料 5

スマートけいはんなプロジェクト R2補正予算採択事業

今年度実証実験について

西日本電信電話株式会社
2021年6月

1. スマートけいはんなプロジェクトの振り返り
2. 今年度の検証ポイント
3. 今年度実証実験について
 1. 取組み内容
 2. スケジュール
 3. 運行計画案
 4. 実証フィールド
 5. 実施体制と役割分担

1.スマートけいはんなプロジェクトの振返り -全体-

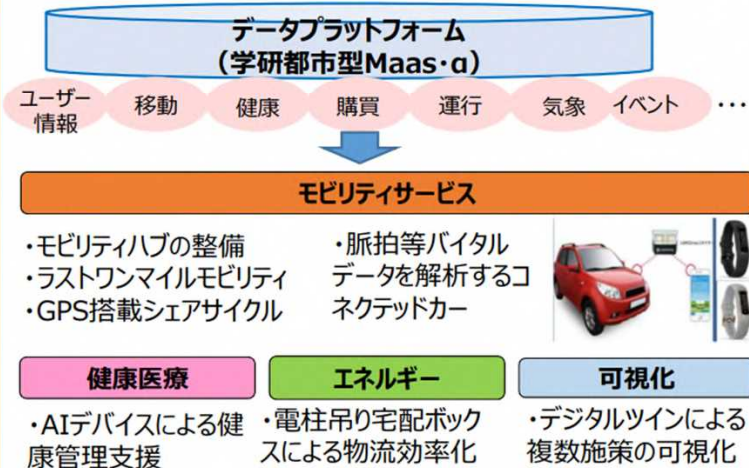
多様な交通手段とその先にある目的との一体性を高めることでサービスの付加価値を向上し、地域の活性化を図る。

目標

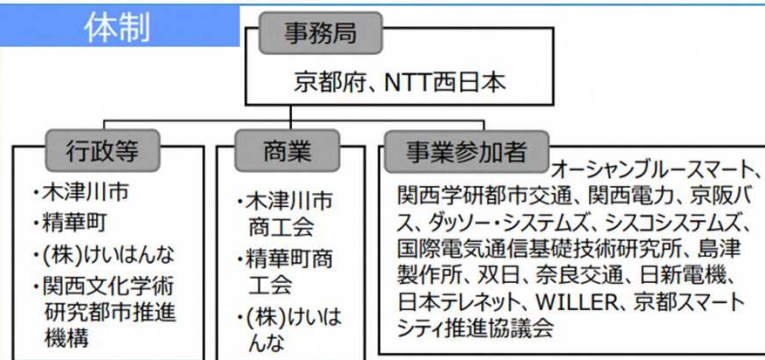
- ・AIデバイス利用登録世帯 全世帯の10%
 - ・地域健康ポイントの利用世帯 高齢者世帯の3%
 - ・マイカーでの通勤率40%（現在）→35% ・買物利用率 81%（現在）→70%
 - ・CO₂排出量 -327t/年
- ※定量目標については、今後取得していくデータ等に基づき設定、改善していく予定

取組概要

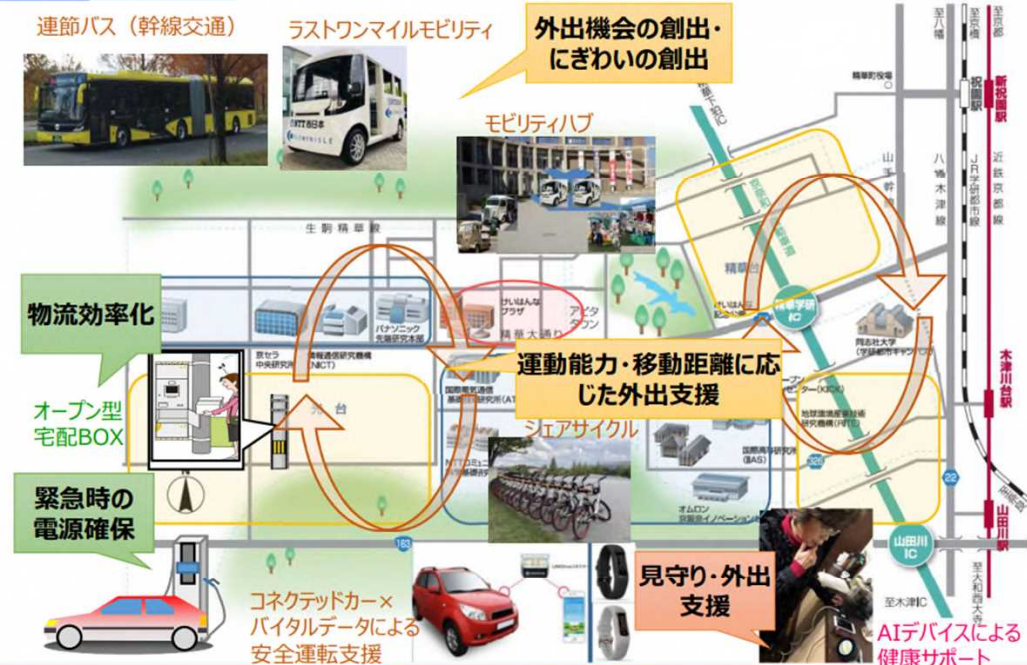
データプラットフォーム（学研都市型MaaS・a）のもと、モビリティを中心とした多様なサービスを提供し、外出機会の創出



体制



将来像



スケジュール

2022年以降順次実装

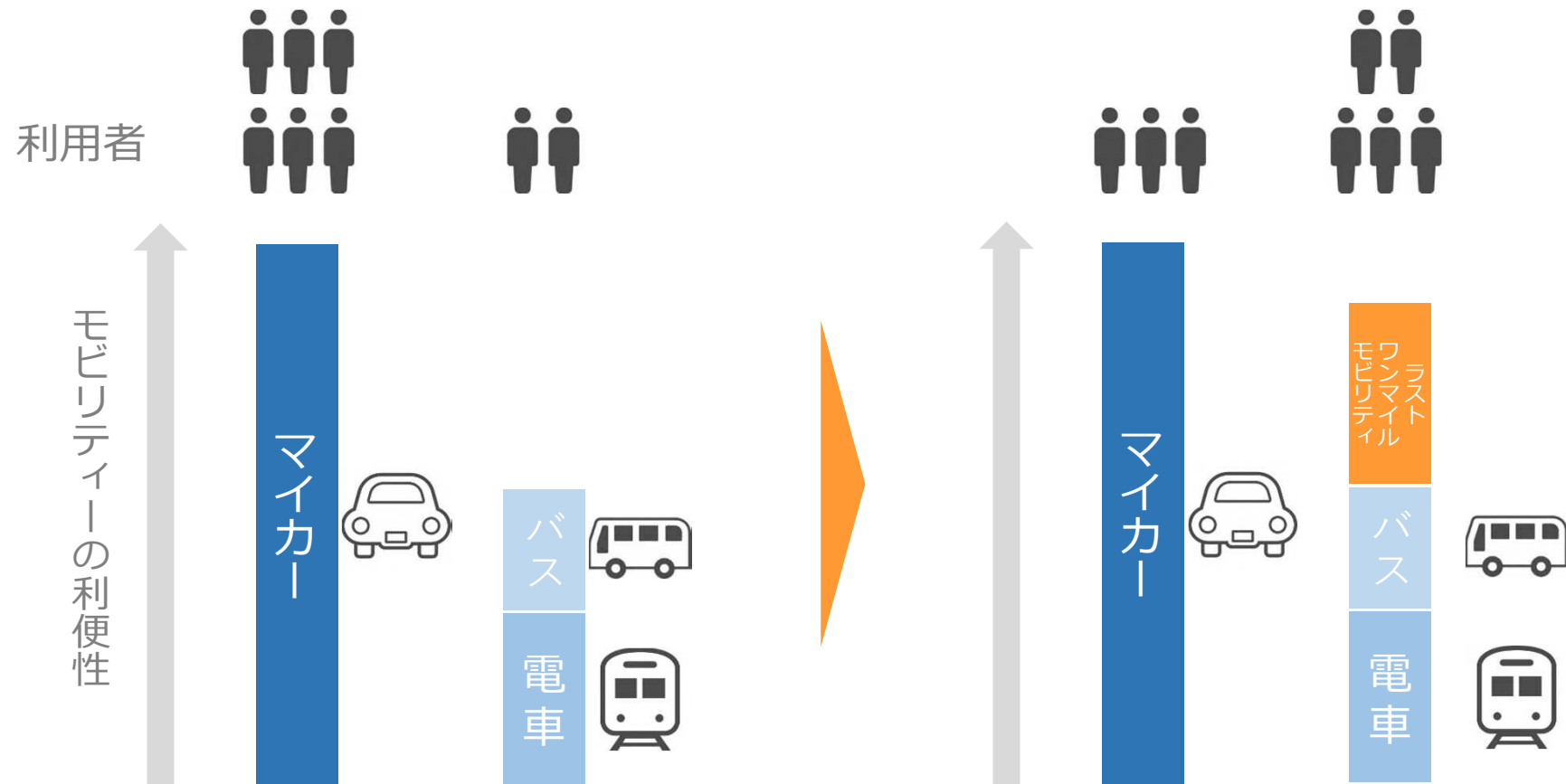


2023年以降順次実装



補足) MaaS導入に向けて新規モビリティが果たす役割

- ✓ 新たなモビリティを導入することで移動の利便性向上を図り、マイカー利用と同等の利便性を確保することを狙っています。



- 既存交通だけを統合してもラストワンマイルを補填できず利便性を高められない
- その結果、利用者は高い維持費を払ってもマイカーを使い続ける

- ラストワンマイルモビリティを投入し、既存交通と統合することでマイカーの利便性に匹敵する公共交通網を構築

1.スマートけいはんなプロジェクトの振返り –弊社企画–

- ✓一昨年度より精華西木津地区における移動需要を調査、ごく近距離でも移動需要が旺盛な精華大通り⇔周辺地域を対象に新規モビリティの導入を試行しています。
- ✓採算性に課題はあるものの自家用車からの転換可能性が一定示されました。

一昨年度の取組み

精華西木津地区を中心に住民アンケートをとり、**移動手段と移動需要について確認**

【買物にいくときの移動手段】



【よく買物に行く時間帯】



【よく買物に行く場所】



昨年度の取組み

移動需要が大きい地域・時間帯で**デマンド交通**を運行し、**利用状況や満足度などのデータから課題を確認**

【運行地域と時間帯】



【取得データと評価項目】

アンケート



アンケートデータから収益性、システム・サービスの改善ポイントを検討

運行システム



運行データから実際の配車効率や、隙間時間など確認

明らかになったこと

現行コミュニティバスと比較しても遜色ない利用者が存在し、**自家用車利用者のサービス満足度もとても高い**

【住民のニーズ】

現行コミュニティバスの利用者数（エリア人口当たり）
目標値：75名/週

結果

120人/週
(最終週)

【自家用車からの転換可能性】

普段、自家用車を利用する人の「満足」の回答率
目標値：70%以上

結果

100%
(n=20)

補足) 昨年度の実証実験について(1/2)



電柱バス停には
左のような番号が
書かれた看板が電柱に
掲示されています。
ご利用の際は、看板を
目印にご乗車ください。



ご予約いただいた
電柱バス停で
乗車いただき、
目的地まで送迎

期間：11/24～12/18
※平日・休日も運行
時間：10時～17時
車両：ハイエース2台
方式：予約に応じた送迎
予約：電話予約・Web予約
ドライバー：関西学研都市交通

凡例 ●乗降場所 ○電柱バス停

補足) 昨年度の実証実験について(2/2)

- ✓25日間の実証における基礎データは以下の通り。
- ✓登録者・利用者ともに**50代、60代、70代が多く、メインユーザー**になりうると想定。

実証に関する 基礎データ

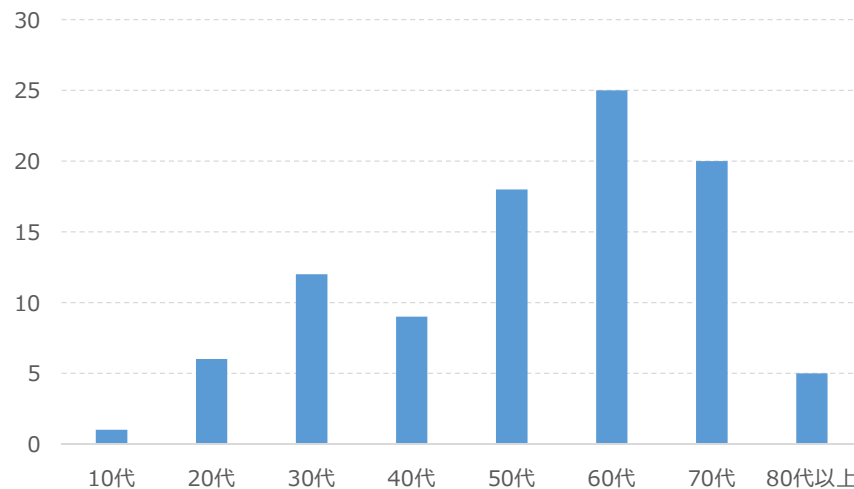
登録者数
96人

利用者数
(重複削除)
50名

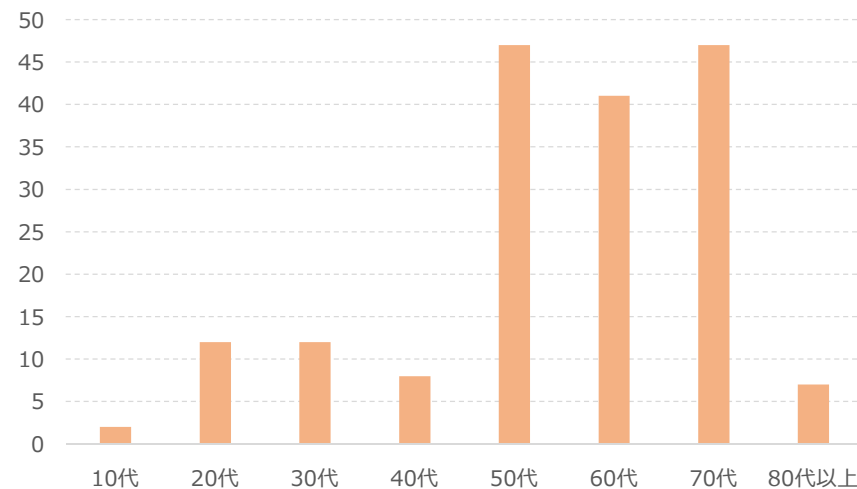
運行回数
176回

乗車数
261人

年代別の登録者数

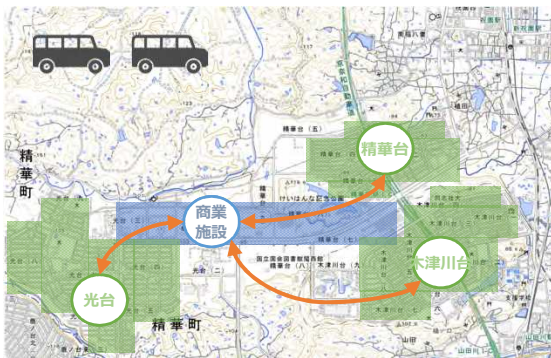


年代別の利用回数



2.今年度の検証ポイント

- ✓昨年度高評価であった移動サービスに加えて、医療施設等の予約サービスや商業施設等の情報配信サービスと連携した検証を行いたいと考えています。

	昨年度 ラストワンマイル 実証実験	今年度 今年度の 実証実験
実施主体	スマートけいはんな協議（NTT）	スマートけいはんな協議（NTT）
実施内容	既存交通が無い近距離（ラストワンマイル）での交通需要の検証	移動+αのサービス有効性検証
運賃・時期	無料 2020年11月24日～12月18日（済）	2021年9月～10月（2ヶ月程度）
目的	- ラストワンマイル交通の需要確認 - デマンド交通導入に向けた課題の把握 - ビジネスモデル構築に向けた課題の把握	- 移動+αのサービス需要確認 - 地元商業事業者/医院等との関係構築 - N西MaaSアプリのMVP機能実装/検証
運行地域	精華町光台4、7、8丁目の一部 	精華西木津地区の全域 

25日間で261名の利用、
利用者満足度も大変高かった

最終週が最多の利用者数

光台の一部地域を車両2台で
カバーするのはリソース過剰

登録されている施設が少ない

もう少し遠くの施設にも行きたい

3.今年度実証実験について-国交省事業の説明-

○本事業で実証するサービス等の将来像

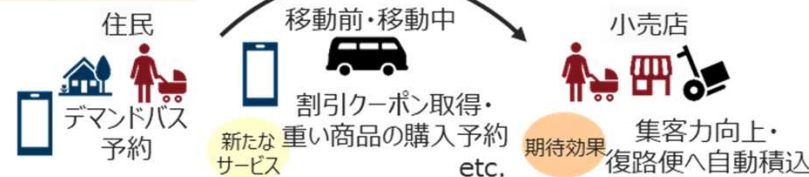
「目的地での用事」と移動手段を連結させたスマートな移動サービスを提供することにより、移動手段の代替・補完を狙いとする従来型のMaaSサービスでは得られない、利用者の満足度向上と、地域の商業施設や医療機関等の事業活性化を目指す

サービスイメージ

通院シーン（例）



買物シーン（例）



実施体制

区分	企業・自治体	主な役割
実施主体	西日本電信電話株式会社	全体企画、スケジュール作成 目的予約・移動システム構築 運行路・運行方法の策定 モビリティ調達
自治体	京都府 精華町	行政内の調整、道路利用許可調整 住民説明・広報支援
交通事業者	関西学研都市交通株式会社	運行路・運行方法の検討協力、 ドライバー調達支援
商業施設・医療機関	精華町西木津地区 商業施設・医療機関	予約サービスの提供 (移動車中での買物予約等)

○本事業で実証するサービス等の実装に向けた課題解決のために本実証実験で実証したい仮説

自家用車が中心の地方部では、公共交通網の弱体化による「移動・生活が困難な住民の増加」が深刻な課題となっている。近年、MaaSという切り口で、多くの地域で様々な交通改善の取り組みが開始されているが、未だビジネスモデルの確立に成功した事例は見かけられない。その要因は、解決すべきテーマを住民の「移動課題」にのみ焦点を当てている為に、従来型の公共交通と比較して採算面で十分な効果を獲得できていない点にあると推察する。

本事業では、**住民の「生活課題」に焦点を当て、「生活課題の解決」に「移動手段」を組み合わせたスマートな移動サービスを提供**することで、利用者の満足度向上によるサービス利用機会増加と事業採算性、並びに地域活性化効果、を実証したい。

3.今年度実証実験について-実証実験の内容-

将来的な
サービス展開
イメージ

- 予約機能のアプリ内包含、医療施設側のシステムとのAPI連携検討
- 対象とする業態の拡張（ヘアサロン、飲食店、ジム等）
- 事業者からのサービス利用料をもとにした収益モデル検討

本実証における
実施概要

- ・[初回来院前] スマホ上でデマンドバスの配車予約に加えて、病院の診察予約を実施
 - └ 提携医療施設の診察予約サイトにURLリンクを行う（MaaSアプリ内には予約機能は持たない）
- ・[初回来院後] 窓口で次回予約の際、あわせてデマンドバスの配車予約サービスを提供
 - └ 医療施設の受付担当が代行でデマンドバス予約を実施

スマホから診察&デマンドバス予約



※医療施設の予約サイトにリンク

窓口で次回診察&デマンドバス予約



実証で得られる
知見・視座

- 利用者にとっての価値（サービス利用者数、満足度）
- 医療施設側との関係性構築
- 運用における課題

3.今年度実証実験について-実証実験の内容-

将来的な
サービス展開
イメージ

- データを活用した行動変容モデルの高度化
 し例：行動、嗜好に応じたレコメンデーション、位置情報に応じたPush、ポイント連携
- 事業者からの送客獲得をもとにした収益モデル検討

本実証における
実施概要

- デマンドバスの実証期間にあわせて地域の店舗/施設を周遊するイベントを企画
- デマンドバス内およびアプリ内で告知を行い、外出機会の創出を図る



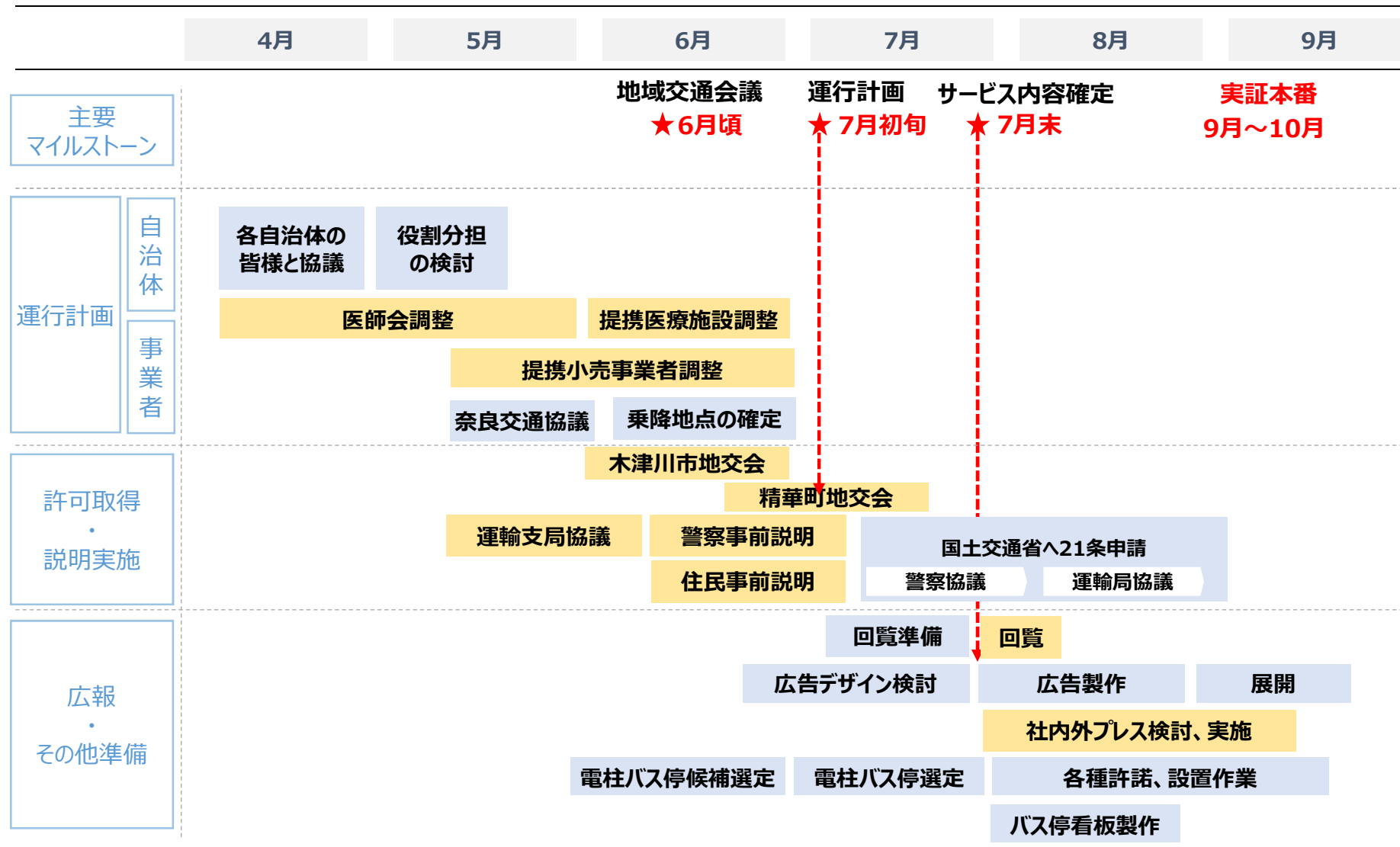
実証で得られる
知見・視座

- 情報接触者における態度変容、行動変容
- コンテンツによる反応傾向の違い
- 利用者属性による反応傾向の違い

3.今年度実証実験について-スケジュール-

自治体様と協働

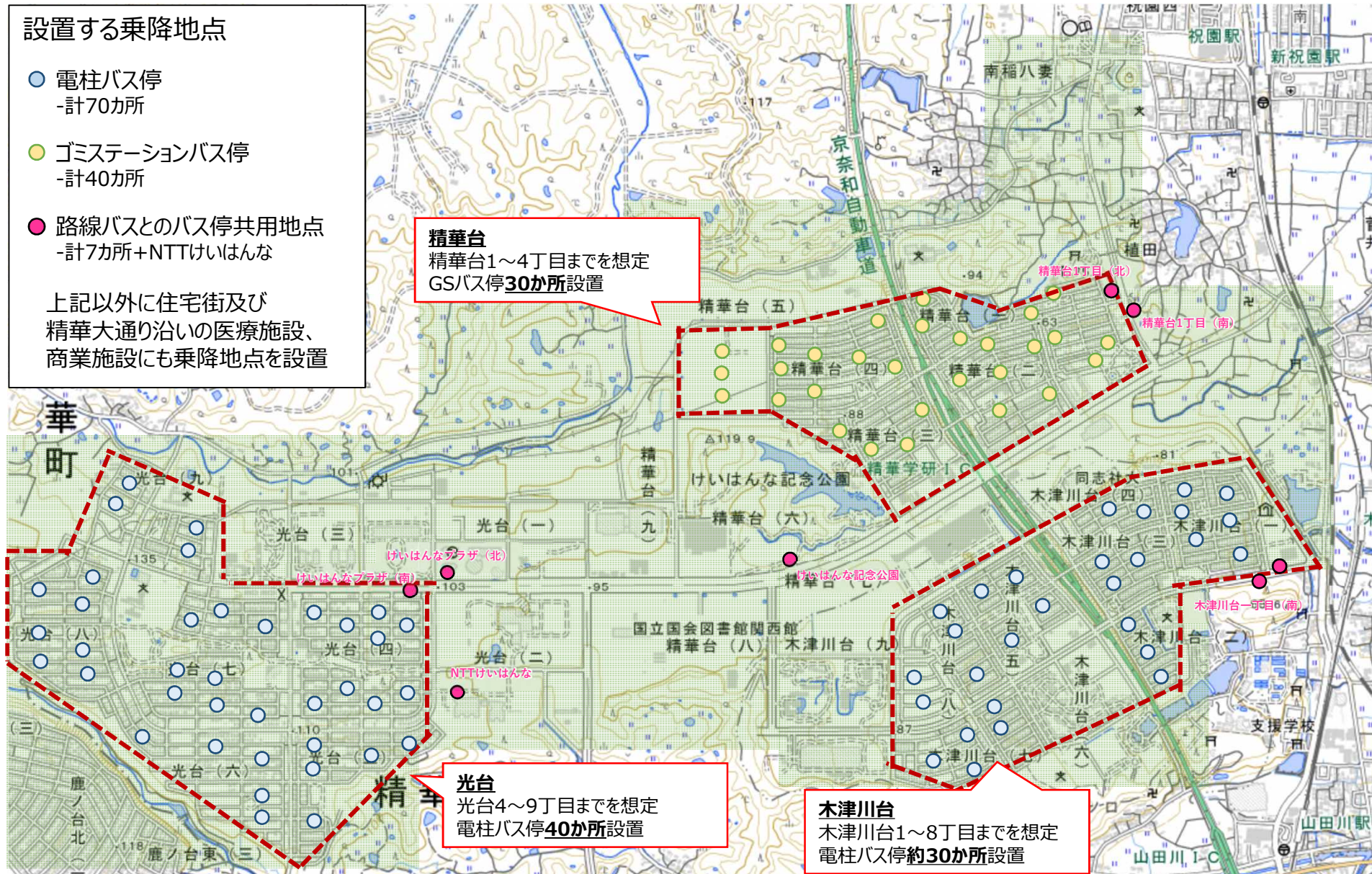
弊社主体



3.今年度実証実験について-運行計画案-

実施期間	令和3年9月1日～10月31日の2か月間 実施予定 ※8月頃より回覧板・チラシ等により住民周知を開始
運行方法・エリア	①8:30～18:00の間、デマンド(予約)運行 主なルート：自宅付近バス停 → 商業施設、医療施設
運賃	有償にて実施 1回100円（未就学児は無料）
使用車両	10人乗り 普通自動車 2台 （学研都市交通様のジャンボタクシーを利用予定）
バス停設置方法	①住宅街は電柱、ゴミステーションを利用予定 ②企業、商業施設は敷地内駐車場に設置予定
車両保管場所	ビエラタウン駐車場/学研都市交通様車庫
予約取得方法	①Web予約 ②電話予約
ドライバー	学研都市交通様（主担当2名、補助3名程度）

3.今年度実証実験について-実証フィールド案-



3.今年度実証実験について-実施体制と役割分担-

- ✓今年度もスマートけいはんなプロジェクト推進協議会を実施主体として自治体の皆様と連携した取り組みを実現したいと考えています。

